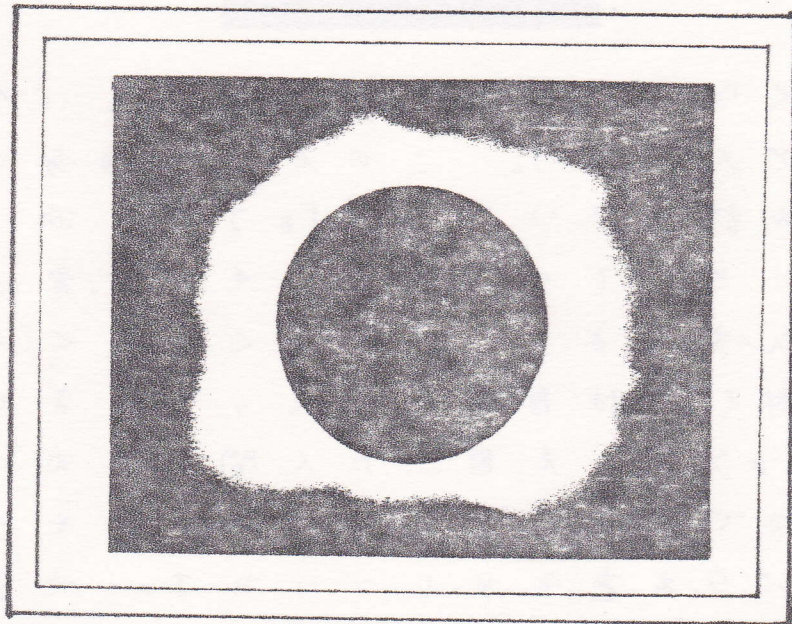


太陽



2



日本GAP紀南会

スパーク ジョット

バラ星雲



よく「雨はいやだね。寒いね。淋しいなあ」と人は言う。この人達は、自分のエゴを語っているのでしょうか。雨は生物にとって欠かせないもので、寒さは、まづうたよって、人を暖くしてくれる。淋しさは自分を発見しているものでしょうか。大自然に人間は、いさくことはできないし、人間は多くのものを学び、それを生かしている。大自然を学べなければ人間は存在しないう。大自然に生かされ、それと共に向上している。これらは忍耐と、宇宙の意識とをもち、テレパシクに感じなければならぬでしょう。淋しさは普通の人なう、だれでも思うことでしょう。

これらは理解力と、フーリングの乏しさからくるのでしょうか。ここに自分が存在していること、ケツフぶの地球に何億の人々が生活をしているということ、なぜ淋しいがミクロの世界から見えることが、必要ではないでしょうか。

『
万物が人間の内部に
貯蔵されていて、解答は
人間が自分自信をよく
知るようになるにつれ
て現れるといふことです。』
G・P・カムスキー

私の実践

松口幸之助

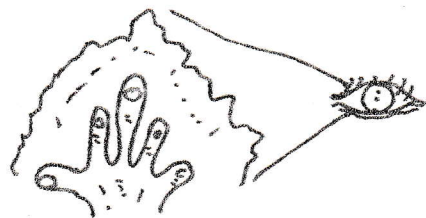
私は一昨年より、宇宙哲学の実践として、ノートに記録するフィーリングが起こり毎日とはいいませんが実行をしております。どういふ記録かと申しますと「生命の科学」や「テシハシー開発法」を読み興味をもった文事をノートに書き、少しですが感じたことも書きます。これは本の内容を理解すること、なるべく毎日読んで日常生活に活用したいのです。それで現在はどうかと申しますと、自分で言うのは簡単ですが日常にかりて、少くづつですが、宇宙哲学が思ひ浮か、これは頑張らなくてはと思う時や他の人のことや自分自信について解り、マイルドと云ふ段々自信というものがついてきたと思います。自身を上げることには必要だと思ひます。自身が上がれば、テシハシー開発や、オーラ透視にかなりの効果があると思ひます。ノートの記録も一昨年とすか、内容を変化したと思ひます。マイルドに換り下げられ、意識の流れに少しですが包まれている感じがします。

オーウ

磐田市 鈴木謙治郎

U F O コンタクト87号に掲載された
遠藤昭則さんの「絶対に真実であったア
ムスキ」の体験を読んで、私はオーウ観
察に開眼しました。科学にも哲学に
しろ偉大なパイオニヤーは、人々が見す
ごしている日常の事象から、文明が飛躍
するほどの大発見、大発明をするもので
す。この記事は多くの人々を啓発した
ことでありましょう。遠藤さんは私達も
見たらと思っっているオーウは、その物体
の外側に在るのなという当然にして、明
らかな事実を、私に気づかせたのです。
たしかに私は、物体を凝視し続けました
がオーウの知をそのは決して見えませ
んでした。しかし、遠藤さんの英知によ
って視点を変えた私は、自分の手の届く
外にオーウを見ることが出来ました。
それは透明ですが、空間とは愛憎な手の
指から放射された「あるもの」であること
を示すその存在領域を見せました。
惑星を覆う大気圏の様に、オーウはその

指を包んでいました。オーラを透して
活字を見ますと、水を透して見た様にゆ
がんで見えます。何時も透明なオーラ
が、色彩を放って居た事が一度ありまし
た。それはトイシに居た時でした。否
応なしに落ち着く場所なので、なにげな
く手を見て驚きました。手の五指が鮮
やかな透い緑色のオーラに覆われていた
のです。手を動かしますと、緑色のオー
ラも一緒に動きます。初体験にしばらく
果然と存りました。これは、周囲からの
反射では無いと思います。壁も水溜も
白色で、床は黒のタイルだからです。
オーラ観察では、まだ他の人のオーラを
見た事はありません。他人を凝視する
ことは、必ずおかしい事です。



月例会 最前線

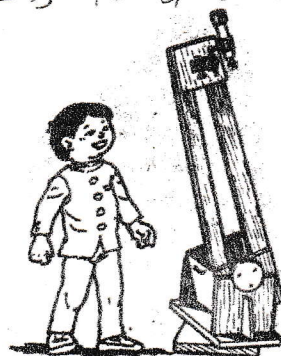
小川隆志

講演テーマをさして、テレパシー能力の開発は、じっくりととりくみ行なわなくては、いけないと思いますが現在の私のまわりの状況社会、そして地球の今後進んでいくだろうと思われ、その先を考えれば、いさぐ必要がないとは言えず自分の心の不必要な動き、万物との一体感や生命に表われる、因なるものの、自然なコミュニケーションの難しさを今感じています。又、テレパシー練習は、一つのテレパシー能力開発の、きっかけになるものと感じています。だから、その時の心の動き、心の反応を、じっくりと、更極めながら、オードの絵を当てるというそのおと意識がその印象を意識的に感受できるように努力したいと思っています。今は一人でやっています。テーマでもあったように、アダムスキー哲学を、学び、実践していくすばらしい生き方を、もっと多くの人に、ブルマをもっている人々、知って、ほしいたい、気付いてもらいたい、この紀南会、すばらしい人々の集まりたい。

松口幸之助

新しい月例会場で又、あんな気分で
2月例会が2名で行れた。

新物のテレパシーは不思議だと思った。
Eボドカードの練習でも、自分の内部で
はわかっていえると思うが、トリーニング
が必要だと思う。日常において個人
にもテレパシーの練習の仕方はあると思
う。(見)



2月月例会研究

日時 2月24日(日) PM1200~PM500

会場 和歌山県新宮市「社会福祉センター」

参加者 2名 松口、小川

内容 旧新AP会長 久保田先生の「テレパシー開
発法」の解説講義テープ公開(2月)

テレパシー練習、座談会

Eボドカード 6枚/組 5回

MA 正解 30パーセント

OA " 27パーセント

会費研例月会南紀

和やかた、奥校にアダムス哲学の
探究と實踐をめぐして、語り合ふ水
と、限りなき学問的人間の成長をめ
がし、意見交換を活動に行ってい
ます。夏面目な探求者の参加
をお待ちしています。

● 毎月第4日曜日午後1時〜5時

● 会場 新宮市社会福祉センター相談室

● フロアム

東京本部月例会より長田会長の「テシ
ン開発法」解説講義を公開。テシ
ン・練習、質疑応答、座談会。

● テキストとして「宇宙からの訪問者」

と「テシン開発法」(文久書林)

をお持ち下さい。

編集後記

● 今年も日本GAPのトップを走らせ
月24日(日)に松山支部大会を開催され
ます。高松田舎の西本さんが出席され
ます。会員の皆様のご参加下さい。

● 会報2号をお届けします。今号から
「太陽」と題しました。会場も決まり、学
的アルマのお持ちの力を発揮し、活動した
と思います。本誌のご感想、ご投稿を
お待ちしております。どうぞよろしくお願い
いたします。

(M)

1985. 2. 25 発行
日本GAP紀南会報2号
編集・発行人 松口幸三助
発行所 日本GAP紀南会
〒571-58 三重県南牟婁郡紀宝西平尾井973